

おいしい 自然園

トンボエダシヤク



初夏の里山を歩くと、クリ畑から何とも言えないにおいが漂ってきます。これはクリの花の香りです。この花には多くの昆虫が集まります。その中でも、トンボエダシヤクはよく見られる昆虫です。この虫は、ふわふわと飛ぶ上、色もきれいなので、よくチョウと間違われます。また、和名にトンボとあるため、トンボの仲間かと思う人もいるかもしれませんが、実はシヤクガの仲間です。「シヤク」の由来は幼虫がシヤクトリムシの形であることにちなみます。

この虫はモンシロチョウより少し大きく目立つうえ、昼間に飛ぶため、新種あるいは謎のチョウがいると、よく問い合わせをうける虫です。ガというとすぐに毒があるかと心配する人がいますが、成虫、幼虫とも毒はありません。ただし、捕まえると逃げずに死んだふりをするところから、人間にとっては無害でも、鳥などの天敵にとっては味がまずい昆虫なのかもしれません。



クリの花にとまるトンボエダシヤク